

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和 6年 1月 15日

事業所名 一般社団法人ここえ velrie美里

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	・設置基準以上の広さを確保しています。	・広いスペースだけでなく、今後は落ち着いて活動できるスペースも用意し、より充実した活動ができるようにしていきます。
	②	職員の配置数は適切である	4	0	・配置基準よりも多く人員配置を行っています。	・基準の2名以上の保育士の配置と、毎月の研修等で専門性の研鑽に努めています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報	4	0	・療育室への入り口を除けばバリアフリー化となっています。 ・視覚支援等を使い、子ども達にも分かりやすい環境に配慮しています。	・療育室への出入り口を除けばバリアフリー化しています。 ・お子様に活動が分かりやすいよう視覚支援や構造化された環境を今後も心がけていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	0	・身体を動かすのにも十分なスペースがあります。 ・落ち着ける空間は仕切りを使用。小さめの個室があると良いと思います。 ・毎日の清掃と消毒により、感染症にも配慮しています。	・安全に過ごせるように施設内点検を毎月行っています。 ・毎日の清掃と消毒で感染症対策も行っています。
業務 改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画している	4	0	・職員会議や月1回の管理者ミーティングで改善策を検討しています。	・職員全体で改善策を話し合い、業務の効率化を目指すとともに、質の高いサービスの提供に向け職員の資質の向上を目指していきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	・今後も年1回のアンケート調査は継続し、改善に努めていきます。	・アンケートの結果はそれぞれの家庭に配布するとともに、ホームページ上でも掲載していきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	・今後も年1回のアンケート調査は継続し、改善に努めていきます。	・アンケートの結果を踏まえ職員間で結果を共有、検討し業務改善に繋げていきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	4	・第三者による外部評価は実施していません。	・現在は保護者評価と自己評価のみ実施。今後は必要に応じて外部評価の実施は検討します。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	・毎月の社内研修の実施だけでなく、外部研修も推奨し支援の質の向上に努めています。	・職員一人ひとりの資質の向上を図るとともに、事業所として必要なサービスを提供できるように計画的に研修の受講を進めていきたいと思えます。
適切 な 支 援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童	4	0	・児童発達支援管理責任者を中心に、全職員でニーズや課題の検討を行い支援計画を作成しています。	・今後もニーズの把握や課題分析も含め支援計画は職員全体で検討し作成していきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0	4	・現在は保護者様から提供される外部の発達検査等を参考にしています。	・事業所としてサービスが提供できるよう研修等に参加し、人材を育成していきたいと思えます。

の 提 供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定され	4	0	・発達支援、家族（保護者）支援、地域支援の項目を設け、支援目標を設定しています。	・支援計画は「発達支援（本人）」と「保護者・地域支援」の項目を設定しています。 ・発達支援はガイドラインに示されている通り「生活」「運動・感覚」「認知・非認知行動・あそび」「言葉・コミュニケーション」「人間関係・社会性」と多面的な視点から目標設定をしています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	・支援計画を基に、日々の机上課題や運動療育の内容を組んでいます。	・今後も支援計画に沿って日々のプログラムや支援方法を実践、振り返り評価し修正しながら支援を行っていきます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	・支援計画の目標が達成されるよう活動プログラムをチームで組み、実施、振り返りを行っています。	・今後も目標が達成されるように日々のミーティングを通して職員全体で検討しながら活動プログラムを立案していきます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	・日々の活動だけでなく、季節の行事やイベントなど取り入れ活動内容に変化を持たせています。	・お子様の課題に沿った活動プログラムだけでなく今後も季節の行事やイベントなども取り入れ、固定化しないよう工夫しています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	4	0	・個別活動と、集団活動でそれぞれ達成すべき目標を組み合わせ作成しています。	・今後も個別と集団のそれぞれの活動で達成されるべき課題を整理し目標を定め、課題達成に向けた支援内容を検討し支援計画を作成していきます。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	・業務開始前にミーティングを行い、活動内容や役割の確認を行っています。	・今後も継続していきます。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	・支援終了後、ミーティング時に振り返りを行い、情報共有と今後の支援の検討を行っています。	・今後も継続していきます。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	・毎日の支援記録を取り、支援の検証を行っています。	・今後も継続していきます。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0	・6か月毎に保護者様とのモニタリングを行い、職員全体で支援計画の見直しの検討を行っています。	・今後も継続していきます。
	関 係 機 関 や 保 護 者	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	・児童発達支援管理責任者が参画しています。
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	0	・毎月事業所発行のお便りを届け情報発信するとともに、情報共有を行っている。	・今後も継続していくとともに、情報共有の中から地域の課題にアプローチできるように努めていきます。
㉓		(区原町プラザが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等			・現在のところ、該当者はいません。	・必要に応じて対応していきます。

護者との連携関係機関や保護者との連携	②4	(医療時)が必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			・現在のところ、該当者はいません。	・必要に応じて対応していきます。
	②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	・送迎時に支援内容の情報提供を行い、相互理解を図っています。	・今後は訪問などの機会を調整し話し合いの場を持つなど、より情報共有と相互理解を図っていききたいと思います。
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている			・初年度のため実績はまだありませんが、必要に応じて情報共有と相互理解を図る予定です。	・ご希望があればサポート手帳などを活用し、情報共有に努めていきます。
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	4	・利用児童が利用している他サービスの専門職から助言の実績。(1件) ・研修については参加予定です。	・現在は助言の実績が少ないので、今後は定期的に情報共有しながら連携に努めていきます。 ・研修は今後も積極的に参加していきます。
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	4	・現在は他園への訪問など交流の実績はありません。	・現在保育所等と併用のお子様が多く、お子様自身の経験としては確保されているように思います。 ・公園や児童館などの外出時に交流できる機会を作っていきます。
	②9	(自立支援)協議会や子育て会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	4	・現在参加の実績はありません。	・行政から積極的に情報提供を求め、自立支援協議会に参加し地域の課題にも貢献できるように努めていきたいと思っています。
	③0	口頭から子どもの状況を保護者に伝え、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	・毎日の連絡帳や送迎時に情報共有を行い、共通理解に努めています。	・連絡帳や送迎時にお子様の状況をお伝えしていきます。 ・定期的なモニタリング時にも相談の機会がありますが、ご要望に応じて面談にも対応いたします。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・	0	4	・今年度はペアレント・トレーニング等の実績はありません。	・ペアレント・トレーニング開催に向けて研修を受講するなど人材の育成に努めていきます。
保護	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	・契約時に十分時間を取り、説明を行っています。	・契約時に説明させていただいています。今後も分かりやすい説明や丁寧な対応を心がけます。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0	・計画作成時、保護者に計画の内容について説明をし、同意を得ています。	・ガイドラインに示されている5領域の支援内容を支援計画に盛り込み、将来お子様が日常生活や社会生活を円滑に営めることを目指しています。 ・モニタリングの結果を基に新しい支援計画について「今後の対応」として資料をお渡ししています。
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を	4	0	・希望に応じて相談を受け付けています。 ・定期的なモニタリング時に相談の時間を設けています。	・半年毎に支援計画の見直しの為にモニタリングを実施し相談の時間を設けています。 ・連絡帳や電話でも随時受け付けますのでお声がけ下さい。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援	0	4	・現在は保護者会等の実績はありません。	・来年度は保護者参観の企画を検討し、保護者様同士の連携を支援していきたいと思っています。

者への説明責任等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、 対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に定期的に云報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	・相談や申し入れがあった場合、迅速かつ適切に対応するよう努めています。 ・苦情受付等は契約時に説明を行っています。	・苦情受付は重要事項説明書に記載し、契約時に説明させていただいています。その他にもご相談、ご要望は随時受け付けていますので、お声がけ下さい。
	③⑦	個人情報の取扱いに十分注意している	4	0	・全職員に入職時誓約書を取っています。 ・個人情報は鍵付きの書庫に保管しています。	・個人情報の取り扱いについては契約時に重要事項説明書にてお話ししています。 ・今後も個人情報の資料は鍵付きの書庫に保管する、肖像権の取り扱いなど十分注意していきます。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしている	4	0	・児童に対しては特性に応じた伝え方を工夫しています。 ・保護者とは連絡帳や送迎時の時間を活用し情報伝達を行っています。	・お子様に対しては特性に応じた環境設定や関わり方を工夫していきます。 ・保護者様とは連絡帳の活用や送迎時のやり取りを丁寧に行うよう心がけます。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	4	・今年度は実績はありません。	・イベントを開催し地域の方を招待するなど、検討していきたいと思っております。
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施	4	0	・各種マニュアルを策定し、定期的に職員研修を行い知識・技術の向上に努めています。 ・定期的に訓練も実施しています。
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っている	4	0	・毎月避難訓練を実施しています。	・避難訓練の年間計画を立て、火災、地震、不審者対応の中から毎月1回訓練を実施しています。
④③		事前には、服薬や予防接種、くわかん発作等の 子どもの状況を確認している	4	0	・契約時に確認をしています。	・今後も契約時に確認するとともに、支援計画更新時にも改めて状況を確認するなど情報を更新していけるようにします。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされている			・契約時に確認をしています。現在対象者はいませんが、必要に応じて対応していきます。	・今後も契約時に食物アレルギーだけでなく、医療的に配慮の必要な事項については定期的に確認を行い対応していきます。
	④⑤	ヒヤッパット事例集を作成して事業所内で共有 している	4	0	・事例は都度職員全体で検討し、予防に努めています。	・今後も事例を通して改善に努め、より安全、安心して過ごせるようにしていきます。
	④⑥	危害を防止するため、職員の研修機会を確保 する等 適切な対応をしている	4	0	・入職時、年2回の研修を実施しています。	・今後も定期的に研修を開催し、適切な対応に努めていきます。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に 事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	0	・支援計画作成時に身体拘束について説明し、承認を得ています。 ・年3回、職員全体で身体拘束について検討を行っています。	・今後も年3回職員全体での身体拘束についての検討は続けていきます。 ・契約時に身体拘束についての説明を行い保護者様に了解を得るとともに、支援計画更新時にも確認を取っていくようにします。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表:令和 6年 1月 15日

事業所名 一般社団法人ここえ velrie美里

保護者等数(児童数) 7(8) 回収数 7 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	0	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	7	0	0	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や	7	0	0	0		
	④	情報伝達等への配慮が適切になされている生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせ	7	0	0	0	・とてもきれいだと思います。	・安全に過ごせるように施設内点検を毎月行っています。 ・毎日の清掃や消毒で感染症対策も行っています。
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	7	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から 子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	0	0	0		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	7	0	0	0	・色々な活動をしていると思いました。	・お子様の課題に沿った活動プログラムだけでなく、季節の行事やイベントなども取り入れ、固定化しないよう工夫しています。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	0	1	5		
	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7	0	0	0		

保護者への説明等	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	7	0	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	5	0	0	2	・通い始めたばかりで分からない。 ・去年受けたペアレント講座は有意義でした。	・ペアレント・トレーニング開催に向けて研修を受講するなど人材の育成に努めていきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6	0	0	1	・通い始めたばかりで分からない。 ・いつも丁寧に連絡帳を書いてもらいます。	・連絡帳や送迎時にお子様の状況をお伝えしていきます。 ・定期的なモニタリング時にも相談の機会がありますが、ご要望に応じて面談にも対応いたします。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	0	0	2	・通い始めたばかりで分からない。	・半年毎に支援計画の見直しの為にモニタリングを実施し相談の時間を設けています。 ・連絡帳や電話でも随時受け付けますのでお声がけ下さい。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	0	1	6	・通い始めたばかりで分からない。 ・仕事の為、他の保護者と会う機会がなく難しいと思います。	・来年度は保護者参観の企画を検討し、保護者様同士の連携を支援していきたいと思えます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6	0	0	1	・通い始めたばかりで分からない。	・重要事項説明書に記載し、契約時に説明させていただいています。ご相談、ご要望は随時受け付けています。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7	0	0	0		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	7	0	0	0		
非常時等の	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	7	0	0	0		

対応	①	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	0	0	2		
満足度	②	子どもは通所を楽しみにしているか	7	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・とても楽しく行っていて嬉しい。「次はいつ？」と曜日を覚えてたりしている。 ・とても楽しかったようでもまた行きたいと言っています ・楽しみにしている。体調の悪い時も行きたがります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「楽しさ」は子ども達の主体的な行動を引き出していきます。「楽しさ」は「やりたい」という意欲に繋がり、それぞれのお子様達に必要な経験を、楽しみながら積んでいけるように環境を整え、活動内容を工夫していきます。
	③	事業所の支援に満足しているか	7	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・とても満足している。保育所や夫婦でも通えてよかったと思うことが多い。本人も気持ちに余裕が出ることも多くなった。 ・いつもありがとうございます。先生たちのおかげでできることが多くなりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が楽しく通えること、それと同時に大切なのは保護者様が安心して預けることができ、お子様の発達特性の理解を深め可能性を見出せることだと考えています。職員一人ひとりの支援の質の向上を図り、適切な支援を提供できるように努めています。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。